

平成 29 年度 第 1 回 弘済ケアセンター
認知症対応型通所介護 運営推進会議 議事録

□ 日 時 平成 29 年 6 月 30 日 (金) 13:30～15:00

□ 場 所 弘済ケアセンター会議室

□ 主 催 弘済ケアセンター □書 記 弘済ケアセンター 生活相談員

□ 出席者 (9名)

【構成員】

- ・ 知見を有する者 (グループホーム管理者)
- ・ 地域住民代表 (民生委員) …都合により欠席
- ・ 地域包括支援センター (連雀地域包括支援センター) …都合により欠席
- ・ 利用者ご家族 5名
- ・ 弘済ケアセンター (管理者、生活相談員、介護職員)

□ 議事内容

1) 主催者挨拶 (運営推進会議の目的、構成員の紹介)

- ・ 改めて、運営推進会議の設置目的と昨年から今回で 3 回目の会議であることを説明し、構成員を紹介した。

2) 認知症対応型通所介護「けやきの会」状況

- ・ 昨年度の事業実績を提示ながら、登録人数が 29 名であること。通所回数が 2.5 回ではあるが、他施設と併用して通所している方も多く、平均して 3～4 回は通所介護を利用していることを説明。

3) けやきの会 家族交流会

(ご家族 A)

当初、週 2 回の通所でしたが、夜間眠らず、せん妄状態がありました。週 5 回、デイサービスに行くようになってから、日中起きている時間が長くなったことで夜も眠るようになり、今は安定して助かっています。年末に介護者が、風邪をこじらせてしまい、肺炎になってしまいましたが、本人を置いて入院することもできず、結局介護しながら自宅で静養し、その時はなんとか病気も治まりました。今は、月に 3 泊程度ショートステイの利用を始めています。また父親も介護していましたが、当時は介護保険が始まる以前であり、カテーテルを入れる重介護でしたが、就労しながらの介護であり、その交換も自分がやらざる得ない時代でした。

(ご家族B)

本人は、いつも自室に閉じこもり、トイレと食事以外は部屋から出て来ない。また、最近はテレビを観ることもなく、眠剤も使っていないのに昼も夜もグーグー眠っている。眠ってばかりいることが、果たして良いことなのか…。

排尿障害があり、以前はバルンカテーテルなども使用していたが、今は改善しており紙パンツを使用している。本人は、排泄介護をされることに抵抗をもっており、なかなか介入できない。紙パンツは汚れており、紙パンツだと処理が助かるが、やりにくくてトイレを汚してしまうのではないかと思う。

(センター職員)

センターでは、トイレに行こうとされる場所について行き、トイレで尿瓶をお渡しすると、ご自分で尿瓶にあてて排尿しています。排尿は、立って行う習慣があり、座ってでは排尿できず、また立ったまままだと衣服や便器周りを汚してしまうため、今は、尿瓶が定着してきています。

(ご家族B)

トイレがとても汚れるので、便器周りに犬用のペットシートを敷き、空気清浄器を置くことで工夫しています。今度、家でも尿瓶を試してみたいと思います。

(ご家族C)

トイレのことで、悩みはあります。ただ、最近は使い捨てのタオルを置いておき、自分で汚れた所は拭いてくれるようになりました。そのため、たまに褒めてあげるんです。褒めてあげると嬉しいようです。自分からは、汚した事は言わないし、シャワーも嫌がるので、つい言うてしまうことがあるのですが、言っても仕方ないんですよね。すぐに忘れてしまいますが、身体は元気で、膝や腰も悪くないので、布団の上げ下ろしや食器も下げてくれるので、助かっています。

(ご家族D)

統合失調症、認知症とパーキンソン病の3つの病気を抱えています。

パーキンソン病の症状では、夕方から足の震えが出現します。喉の筋肉が動かず、食事がのどを通らないこともあります。認知症では、徘徊がありますので、鍵をつけるようにし、なるべく一緒に外を歩くようにしています。夜中に目覚めて、出ていこうとしますが、鍵がかかっているため、窓を叩く音で気が付きます。最初の頃は、感情的になることもありましたが、認知症関連の文献やインターネットで調べ対応方法を学び、怒らないようになりました。

(ご家族E)

お風呂になかなか入ろうとしません。同じ服を着たがり、洋服を取り換えても、また自分で何度も着替えてしまいます。家族のこともわからなくなってしまうこともあり、時間の感覚もなくなり、デイから帰ってきててもまた、出かけようとしています。ケアセンターのことは大好きで、毎日でも行きたがります。一度、日曜日に気付かないうちに出て行ってしまい、管理人さんに教えてもらったこともありました。日中はほとんど寝てばかりいますが、夜中はゴソゴソと起きています。玄関の鍵は開けにくくなっているので、夜間は出ることはないと思っていましたが、一度何かの拍子で鍵を開けられたようで、ドアを

開けてキョロキョロしているところを発見したことがありました。最近、言葉も出てこなくなりました。以前は、情けない気持ちもあり、つい叱ってしまうこともありましたが、ケアマネさんからも怒ることは、余計に良くないことを聞き、怒らないようにしています。

お風呂に入ってもらうのに、何か良い方法はありますか。

(構成員)

入浴を嫌がる方は、ホームにもいます。一度「入らない」と言われると、ご自分で決めた事なので、お風呂に入れることは本当に難しいです。

お風呂に入ると、ご褒美があるような声掛けを試してみるのも良いと思います。例えば、「出かける前にお風呂に入ろう」や「おいしい物を食べる前に…」などです。

または、お風呂嫌いを受け止めたうえで、「今日は、嫌いなお風呂ですよ」とわざと言ってしまうのも効果的です。認知症の方が、以前はお風呂が好きだったのに、嫌がるようになるには様々な理由が考えられます。設備が複雑になり、混乱してしまうということもあるようなので、シンプルな設備にするのも一つの方法かもしれません。色々方法を尽くしても、入らないことはありますが、垢では人間は死なないと、おおらかに受け止めていきましょう。

(ご家族E)

そうですね。垢では死なないですね。ご褒美の方法も試してみます。

(センター職員)

何か皆様から、センターへの質問や要望などはありますか。

(ご家族B)

通所の時に、お金を持って行きたがるんです。時には、数万円も。私の方で、必ずチェックして持たせないようにはしているのですが…。

(所長)

大金でなければ、持参いただいて大丈夫です。自動販売機もありますし、コーヒー代で小銭を使うこともありますから。どこかに出かけるときに、財布を持って行くというのは、普通の感覚でもあります。あまり大金だと困りますが、少ない金額なら大丈夫です。

(センター職員)

Dさんは、お金をポケットに入れていらしてますが、何か理由があるのでしょうか。

(ご家族D)

徘徊をしますので、徘徊をした先で何かお金が入用になった際に、迷惑をかけてはいけないので、もしもの為に、いつもポケットに入れるようにしています。

(ご家族D)

食事の摂取量について、いつも帰ってくると本人は「全部食べた」と言っているのですが、どの位食べたか、ノートに記載してもらうことは可能ですか？

(センター職員)

基本的に、全量摂取の場合は、何も書かず、残した時に記載するようにしているのですが、書いた方がよろしいですか。

(ご家族D)

わかりました。残した時に書いていただくことで、大丈夫です。

(センター職員)

認知症の方は、ご自分から調子の悪さを訴えることができません。これから暑くなる時期も迎えますので脱水なども心配です。少しの変化が不調の兆しでもありますので、これからもご家族と連携をしながら、より良い支援をしていきたいと思っています。